

1 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を養う。

2 学習の到達目標・使用教材・評価方法

学習の到達目標	知識・技能	1・2年生の学習に加え、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。文化としてのスポーツの意義について理解している。各運動・スポーツの特性に応じた基本的な技能を身に付け、合理的かつ自己の体力に応じた体の動かし方をしている。
	思考・判断・表現	1・2年生の学習に加え、生涯にわたって運動を実践するために、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けた取り組みや目的に応じた運動の組み合わせを工夫して行うことができる。また、それらを他者に伝え互いに解決に向けた工夫をすることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	1・2年生の学習に加え、運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、公正、協力、責任、参画、共生に対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組むことができる。
使用教材	新篇 新しい保健体育 中学保健資料ノート3年 その他（配布プリント・ロイロノート）	
評価方法	定期テスト、技能テスト、小テスト、振り返りシート、レポート、授業の様子	

3 学習のてびき

学習方法	学校	<p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の面白さを味わうことができるように、積極的に参加しよう。 ・仲間と協力して課題に取り組みましょう。 ・決まりを守って安全に活動できるようにしましょう。 ・分かったことや疑問に思ったことなどを積極的に発表しましょう。 ・配られた資料をまとめましょう。 ・提出物の期限を守りましょう。 <p><レポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや資料を利用して、調べまとめましょう。 ・工夫して見やすくしましょう。 <p><テスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を教科書・ワーク・配布プリントを使って復習しましょう。 ・分からないところや疑問点は先生に聞いてください。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を家で復習しましょう。 ・動画や画像を見て運動のイメージをつくりましょう。

4-1 年間計画 【体育分野】

		単元名 【体育分野】	評価の観点
一 学 期	4 月	○体づくり運動 集団行動	○自他の心と体に向き合い体を動かす心地よさや楽しさを味わうことができる。 ○集団行動の基本を学び、集合、整列、列の整頓を速やかに行うことができる。
		○新体力テスト	○新体力テストの実施方法を理解し、正しく測定できる。
	5 月	○陸上競技選択 ・短距離走 ・ハードル走 ・走り幅跳び	○中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる。 ○スピードを維持した走りからハードルを低く越したり、抜き足の膝を折り畳み前に運ぶ動作をしたりすることができる。 ○スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。
		○体育理論	○運動やスポーツが多様な楽しさから生み出されたことを理解することができる。
	6 月	○体育祭に向けた 取り組み	○工夫して競技を行い、クラス全体のことを考え活動に取り組むことができている。
		○ネット型球技	○役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
7 月	○水泳	○資料から様々な泳法や、着衣時の泳法について理解することができる。	
二 学 期	9 月	○マット運動	○基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。 ○条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
	1 0 月	○ベースボール型 球技	○走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる
	1 1 月	○現代的なリズム のダンス	○リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせることで全身で踊ることができる。
	1 2 月	○体づくり運動 ○体育理論	○動きを持続するための運動を計画、提案し、体力向上の基礎をつくる ことができる。 ○「する、みる、支える、知る」といった関りを理解することができる。
三 学 期	1 月	○ゴール型球技	○安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。
	2 ・ 3 月	○球技選択	○各種目の特徴を理解し、仲間とともに安全に取り組むことができる。 ○自己に適した運動を見つけ、楽しみながら運動に親しむことができる。

4-2 年間計画 【保健分野】

		単元名 【保健分野】	評価の観点	
1 学 期	4 月	○環境への適応能力	○身体には、環境に対してある程度まで適応能力があることを理解している。	
	5 月	○活動に適する環境	○身体の適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあることを理解している。	
	6 月	○飲料水の衛生的管理	○飲料水と健康の関わりを理解している。	
	7 月	○室内の空気の衛生的管理	○空気と健康の関わりを理解している。	
	7 月	○生活に伴う廃棄物の衛生的管理	○環境を汚染しない処理の必要性を理解している。	
	2 学 期	9 月	○感染症の原因とその広がり方	○感染症は病原体が要因となって発生する。発生源をなくし、感染経路を遮断して、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。
		10 月	○感染症の予防	
11 月		○性感染症の予防	○性感染症は正しい知識で予防できることを理解している。	
12 月		○エイズの予防	○エイズを予防するためにどのような方法があるのかを理解している。	
3 学 期	1 月	○医薬品の利用	○健康の保持増進や疾病の予防のためには、保健・医療機関を有効に利用する手段があることを理解する。医薬品は正しい使い方をすることを理解している。	
	2 月	○保健・医療機関の利用		
	3 月	○個人の健康を守る社会の取り組み	○個人の健康を増進するためには社会との関わりが不可欠であることを理解している。	